

CxSAST バックアップ手順

2022年5月10日

バックアップ

1. スキャンが実行されていないことを確認し、Windows サービスから CxSystemManager、CxJobsManager、CxScansManager、CxSastResults、CxScanEngine、CxARM、CxARMTEL、CxRemediationIntelligence、ActiveMQ を停止します。サービスはインストールされている Checkmarx コンポーネントによって異なります。

CxSAST8.8/8.9 の場合、サービスは CxSystemManager、CxJobsManager、CxScansManager、CxScanEngine、CxARM、CxARMTEL となります。

CxARM、CxARMTEL、CxRemediationIntelligence は管理とオーケストレーションがインストールされている場合のみ停止します。

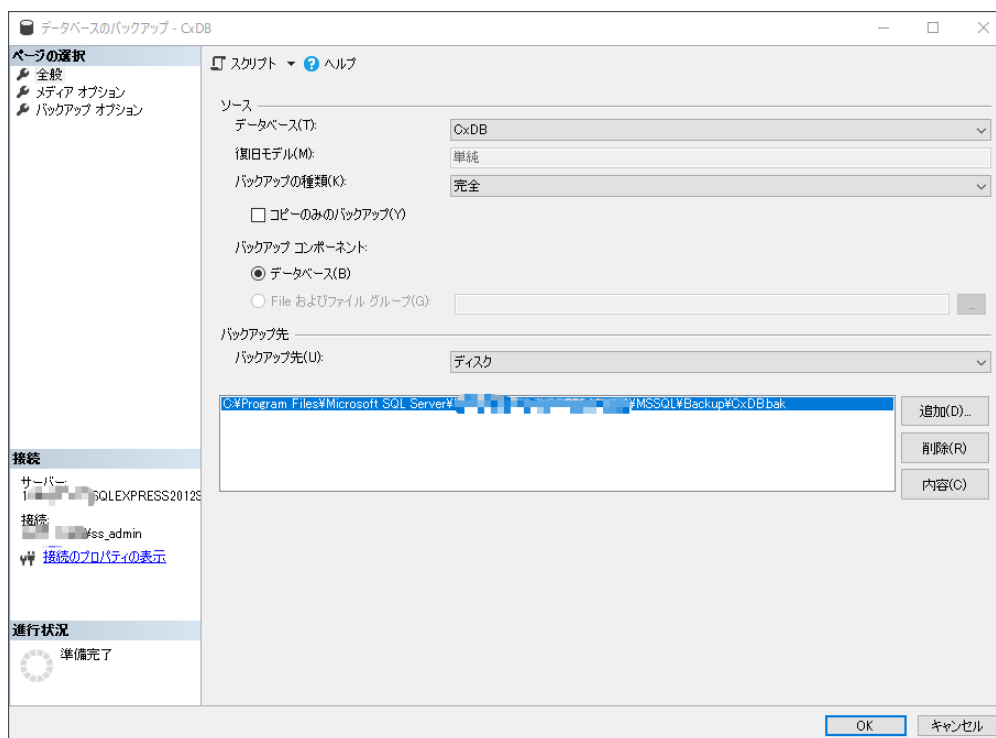
2. IIS Web Server を停止します。
管理者権限で、コマンドプロンプトから「iisreset /stop」を実行します。
3. Checkmarx ディレクトリをコピーします。
デフォルトは、「C:\Program Files\Checkmarx」となっています。
コピーする際に、Windows コマンドツールなどでディレクトリやファイルの属性情報を全てコピーしてください。

robocopy の参考例：

```
robocopy "C:\Program Files\Checkmarx" C:\BK\CheckmarxBK /E /NP /DCOPY:DAT  
/COPYALL /R:1 /W:1 /LOG:CheckmarxBK.log
```

4. SQL Management Studio などを使用して SQL サーバの DB である CxDB、CxActivity、CxARM をバックアップします。CxARM は管理とオーケストレーションがインストールされている場合のみ存在します。

SQL Management Studio を利用する場合、対象 DB を選択し、右クリックして、「タスク」－「バックアップ」から、バックアップができます。



バックアップ先を指定して、「OK」をクリックします。

5. CxSRC ディレクトリをコピーします。

デフォルトは、「C:\CxSrc」となっています。

コピーする際に、Windows コマンドツールなどでフォルダやファイルの属性情報を全てコピーしてください。

robocopy の参考例：

```
robocopy C:\CxSrc C:\BK\CxSrcBK /E /NP /DCOPY:DAT /COPYALL /R:1 /W:1 /LOG:CxSrcBK.log
```

6. CxSAST9.3 以降は、パラメータが環境変数として編集できるようになりました。以下の Access Control と CxEngine の環境変数をバックアップしてください。

- AccessControlClientCredentialsSecret
- MessageQueuePassword
- CX_ES_MESSAGE_QUEUE_PASSWORD

7. すべての Cx Windows サービスを起動します。

8. IIS Web Server を起動します。

管理者権限で、コマンドプロンプトから「iisreset /start」を実行します。

以上